

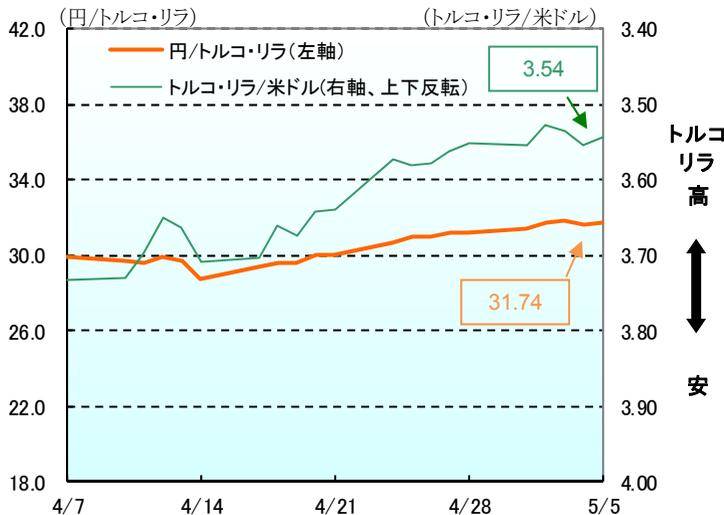
## トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年4月29日～2017年5月5日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通してみると対米ドルではほぼ横ばいでの推移となる一方、対円では上昇となりました。またトルコの2年国債金利は低下となりました。4月の消費者物価指数については前年同月比で+11.87%と、衣料品価格や食料品価格などの上昇を背景に、前月からさらなる加速を見せました。4月末に発表された四半期インフレ報告書では、中央銀行は2017年のインフレ率の予想を8.5%としています。また4月の国民投票で改憲が認められ、大統領の政党所属が可能となったことを受けて、エルドアン大統領はAKP(公正発展党)に復党しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年4月7日～2017年5月5日)



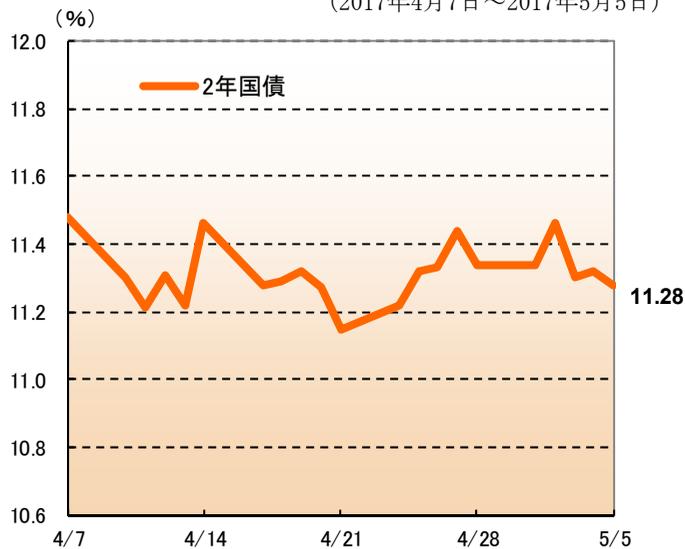
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【2】今週の見通し

今週は3月の経常収支の発表が予定されています。5月3日(現地)にはロシアのプーチン大統領とエルドアン大統領が会談を行い、ロシアがトルコからの輸入品目に課していた制裁の多くが解除されました。トルコがロシア軍用機を撃墜したことで高まった、外交的な緊張の影響はほぼ無くなったと考えられます。また週末にはフランス大統領選挙でマクロン氏が勝利したことを受けて、EU(欧州連合)での混乱が回避されるとの見通しから、リスクセンチメントの改善が見込まれ、今週のトルコ金融市場は堅調な推移となりやすいと予想します。

【トルコ 金利推移】

(2017年4月7日～2017年5月5日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>